

「何人ものニュートンがいた (There were several Newtons)」と言ったのは、科学史家ハイルブロンである。同様にコーヘンは「ニュートンは常に二つの貌を持っていた (Newton was always ambivalent)」と語っている。

近代物理学史上でもっとも傑出しもっとも影響の大きな人物がニュートンであることは、誰しも頷くであろう。しかし、ハイルブロンやコーヘンの言うように、ニュートンは様々な、ときには相矛盾した顔を持ちその影響もまた時代とともに大きく変っていった。